

月刊

2022 10

公論

世界の視点で
情報を発信する
総合誌

「再考の府」参議院の議員は しっかり勉強し、伯仲の議論を展開せよ

提言 本誌主幹 **大中 吉一**

連載 **医療最前線** 長尾和宏の「生」と「死」 医学博士 **長尾 和宏氏**
子供への接種の即時中止を! 日本の未来のために再考を!

TOPインタビュー ②6 日東工器株式会社
代表取締役社長 社長執行役員 **小形 明誠氏**
「開発は企業の保険なり」独自の路線で日本の強みを継承する企業

新連載 **近い将来世界をリードする** (株)人間と科学の研究所
所長 **飛岡 健氏**
日本の文明文化の拡がりとお行き ①

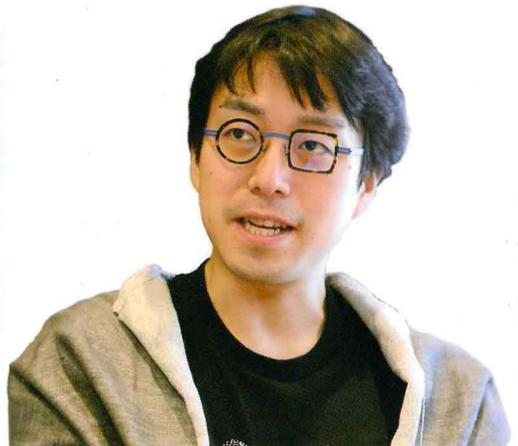
現代美術家
スタートバーン株式会社 代表取締役

施井 泰平氏

リレー
対談

経済学者 イェール大学助教授
半熟飯想株式会社 代表取締役

成田 悠輔氏



政治経済の仕組みは
どうすれば
作り替えられるか

敗退を繰り返し絶望を深めながら世代交代は進む

3 提言

「再考の府」参議院の議員は
しっかりと勉強し、伯仲の議論を展開せよ

本誌主幹 大中吉一

リレー対談

政治経済の仕組みは
どうすれば作り替え
られるか
敗退を繰り返し絶望を深め
ながら世代交代は進む

成田悠輔氏

経済学者 イェール大学助教授
半熟飯想株式会社 代表取締役

施井泰平氏

現代美術家
スタートバーン株式会社 代表取締役

56

新連載
近い将来世界をリードする
日本の文明文化の拡がりとお興行き①

(株) 人間と科学の研究所 所長

飛岡健氏

66

TOPインタビュー②⑥
「開発は企業の保険なり」
独自の路線で日本の強みを継承する企業

日東工器株式会社 代表取締役社長 / 社長執行役員

小形明誠氏

3

提言

リレー対談

《時論公論》

I ペロシ氏訪台で揺れる米中

II 新たなチャイナリスク 世界経済底割れの着火剤?

III 安倍ロスの秋 旧統一教会問題が政権を直撃

IV 旧統一教会と政治 日本の凋落の原点はどこにある

ジャーナリスト 泉 洋海

経済ジャーナリスト 八雲豊彦

政治アナリスト / 元杏林大学教授 豊島典雄

ジャーナリスト 三木寛郎

ジャーナリスト 安部雅延

在仏コラムニスト

鈴木哲夫

ジャーナリスト

50 連載◎医療最前線 長尾和宏の「生」と「死」
子供への接種の即時中止を！ 日本の未来のために再考を！
医学博士 長尾和宏

48 先人に学び、日本を哲学する 特別編
美しい国日本の建設の為に「皆農制」を！
明日を担う若者を「農業」を通して育てる為に「完
個人間と科学の研究所 所長 飛岡 健

38 列島いんふおめーしょんPLUS
「セブンプレミアム」15周年
更なる品質向上を目指し、約560アイテムをリニューアル

36 株式会社セブン&アイホールディングス
ジャーナリスト 鈴木哲夫

28 連載◎政界展望
「国難」の時期にこそ世論を受け止め
為政者としていま必要な行動を

26 連載◎欧州からニッポンを見る(325)
悪を憎んで国を憎まず世界の分断を止めるために
在仏コラムニスト 安部雅延

24 連載◎防炎の世界を解剖する(62)
見直しが続く災害時の福祉支援対策
各地で遅れる福祉避難所政策
一般社団法人ADI災害研究所 理事長 伊永 勉

22 連載◎未病漢方事始め⑫
ヒトは血管とともに老いる①
修善堂大塚医院 渡辺賢治

20 近い将来世界をリードする
日本の文明文化の拡がりとお興行き①
(株)人間と科学の研究所 所長 飛岡 健

18 シリーズ TOPインタビュー②⑥
「開発は企業の保険なり」
独自の路線で日本の強みを継承する企業
日東工器株式会社 代表取締役社長 / 社長執行役員 小形明誠

6 三起商行株式会社
「ミキハウスゴールドレベル」始動
ニッポンの誇る名門コースと
我が誇るべき交悠録の仲間たち
本誌主幹 大中吉一

74 連載◎グリーン交悠録
ニッポンの誇る名門コースと
我が誇るべき交悠録の仲間たち
本誌主幹 大中吉一

70 連載◎医療最前線 長尾和宏の「生」と「死」
子供への接種の即時中止を！
日本の未来のために再考を！
医学博士 長尾和宏

50 近い将来世界をリードする
日本の文明文化の拡がりとお興行き①
(株)人間と科学の研究所 所長 飛岡 健

56 新連載
近い将来世界をリードする
日本の文明文化の拡がりとお興行き①
(株)人間と科学の研究所 所長 飛岡 健

66 「開発は企業の保険なり」
独自の路線で日本の強みを継承する企業
日東工器株式会社 代表取締役社長 / 社長執行役員 小形明誠

「月刊公論」電子版がスタート。
下記QRコードをご参照ください。
[URL]
<https://www.kohronarc.jp/>





未病漢方
事始め
—第12回—

ヒトは血管とともに老いる①

修琴堂大塚医院 渡辺 賢治

前号までがんに関して、予防から漢方治療まで書かせていただきました。がんは未病段階で防げれば良いのですが、進行してもあらゆるステージで漢方治療が揃っていることも述べました。

働き盛りを襲う病気の代表として、がん以外にも心筋梗塞・脳梗塞が挙げられます。2020年の日本人の死因の1位は悪性新生物(27.6%)、2位は心疾患(15.0)、3位は老衰(9.6%)、4位は脳血管疾患(7.5%)、5位は肺炎(5.7%)です。かつては脳血管疾患が日本人の死因の1位でした。日本人は塩分摂取量が多く、高血圧からの脳出血が多かったのですが、減塩運動や降圧剤の普及により、今では脳梗塞が多くなっています。

心筋梗塞・脳血管疾患は一命を取り

止めたとしても、後遺症が残ることがあります。心筋梗塞であれば心不全で日常生活が制限されます。また、脳血管疾患では運動麻痺や言語障害が残ることがあります。

ある日突然働く世代を襲った場合には、本人も大変ですが、家族にも介護や経済的負担を課すことにもなりかねません。加齢変化は全身に起こるのですが、血管は老化しやすい場所です。今回からは血管老化につきお話を致します。

血管老化の種類

一口に血管といってもいろいろな種類があります。心臓から出て血液を運ぶ大きな血管は大動脈です。そこから分岐を繰り返して細動脈となり、さらに分岐した毛細血管が臓器に酸素と

栄養を運んだあと、組織から出される二酸化炭素と老廃物を集めながら、静脈から大静脈となって心臓に戻ります。血管は内膜・中膜・外膜の3層から成りますが、このうち中膜の弾性が強く、血圧の調整などを行っています。頸動脈エコーをやられた方もいらっしゃると思いますが、内膜・中膜の厚さやプラークを計測して動脈硬化の進行度合いを評価します。

組織に酸素や栄養を送る毛細血管は直径が5μm〜20μmで、すべての臓器に網の目状に分布し、栄養と酸素を送り込み、老廃物を体外に排出する働きをしています。全身の血管の95%を占め、総距離は10万キロ(地球2周半)ともいわれています。毛細血管は内膜一層から成るため脆弱で、時に詰まったり、蛇行したりし

て、消えてしまうこともあります。これをゴースト血管と呼びます。医学の領域では、時々怖い用語が出てきますね。

毛細血管がゴースト化すれば、血液の流れが悪くなり、動脈に負荷がかかって血圧が上がります。これが大きな血管の動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を起こすのです。

毛細血管の老化の程度を見る目安として、慢性腎臓病があります。何年か前から健康診断の結果にeGFRという項目を目にするようになりました。GFRとは糸球体濾過量のことです。糸球体は血液を濾過して尿をつくる場所です。腎臓が左右2つあるのはご存知だと思いますが、糸球体は片方の腎臓に100万個存在しますので、左右で200万個の糸球体があります。こ

こで血液を濾過して、尿を作っているのです。本来であれば正確に糸球体濾過量を計測するには、クレアチニンやイヌリンという物質が、ある一定時間の尿の中にどのくらい排泄され、どのくらい血液の中に残っているかを測定して、濾過機能を評価します。しかし24時間もしくは2時間、尿を貯めなくてはならないので大変です。そこで、血清のクレアチニン値から、年齢・性別・体格などを考慮して簡便に導き出したものがeGFRです。eはestimated(推測した)の意味です。

eGFRの値が60以上あり、蛋白尿がなければ正常です。そうした目で再度健康診断の結果を見直してください。60未満だったら「慢性腎臓病」と

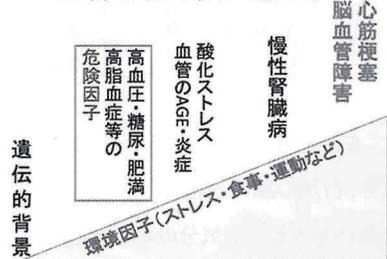
いう病名が付きまします。しかし慢性腎臓病と診断されても、特段に症状があるわけではないので軽視されがちです。米国腎臓統計システムでは、慢性腎臓病が、将来的に透析が必要となる危険度が増すばかりでなく、狭心症、心筋梗塞、心不全になる危険性が高まることを、データをもとに警鐘を鳴らしています。

血管老化は長い道のりで進行する

血管老化の進行は、もちろん加齢がいちばんの原因ですが、高血圧、糖尿病、肥満、高脂血症などの危険因子があると進行します。そうした

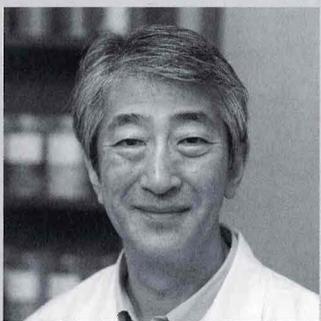
危険因子により、酸化ストレス、糖化ストレス(蛋白に糖がべたべたくっついてそれが血管に沈着する)慢性炎症を起こします。その結果、まずは細い動脈や毛細血管など(細小血管)が障害されます。この代表

血管老化の長い道のり



が慢性腎臓病です。左右2つの腎臓にある200万個の糸球体は毛細血管が入り込んで、尿を濾過していることで、腎機能が低下すること、腎臓に大きな血管に負荷をかけて、狭心症、心筋梗塞、脳血管障害を起こします。

もちろん遺伝因子もありますが、それ以上に大きな要因は生活習慣です。すなわち血管老化も生活習慣を見直すことで防げるのです。難しい言葉ばかり出てきて恐縮ですが、次回からはこうした用語の説明をしながら、血管老化の進行を防ぐための生活習慣と漢方治療について具体的に説明させていただきます。



わたなべけんじ
渡辺 賢治

慶應義塾大学医学部卒。慶應義塾大学医学部内科、東海大学医学部免疫学教室に国内留学後、米国スタンフォード大学遺伝学教室に留学。帰国後北里研究所(現北里大学)東洋医学総合研究所、慶應義塾大学医学部漢方医学センター長、慶應義塾大学環境情報学部教授を経て、1931年に開設された漢方専門医院、修琴堂大塚医院院長に就任。横浜薬科大学特別招聘教授、慶應義塾大学医学部漢方医学センター客員教授、奈良県顧問、神奈川県顧問、漢方産業化推進研究会代表理事、日本臨床漢方医学会副理事長、WHO医学科学諮問委員、WHO伝統医学分類委員会共同議長等を兼ねる。1900年以來、西洋医学のみだった国際疾病分類の、第11改訂(2019年)に、伝統医療が初めて取り入れられたが、2005年からプロジェクトの共同議長として長年尽力。主な著書に『漢方医学 同病異治の哲学』(講談社学術文庫)、『未病図鑑』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)、『漢方で感染症からカラダを守る』(ブックマン社)など。

病院にも家にも頼らないカラダをつくる



渡辺賢治先生の近著「未病図鑑」